

デジタル療法・治療用アプリ分科会
SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy
分科会長 佐竹 晃太
日本赤十字社医療センター

1. 分科会の目的

国内外におけるデジタル療法に関する調査、治療アプリを活用した新たな診療モデルの検討、アプリを用いた新たな臨床研究の推進やサポートを行う。

2. 令和5（2023）年度活動実績と成果

第27回日本遠隔医療学会学術大会 デジタル療法分科会 企画

「治療アプリの国境を超えた展開」をテーマに、アステラス製薬株式会社 Rx+事業創成部 ビジネスプロデューサー 神田 直幸先生、塩野義製薬株式会社 ニュープロダクトプランニング部 デジタルセラピー・デジタルマーケティングユニット長/専任部長 阪口 岳先生、株式会社 CureApp 高木雄亮を演者として招聘し、治療アプリの国際展開の可能性と課題について講演いただき、分科会メンバーの金沢大学 野村 章洋先生が座長としてディスカッションを行った。

3. 令和6（2024）年度活動計画

- 1) 普及啓発：国内外での他の学会での、治療用アプリ・デジタル療法に関する発表など。
- 2) 診療モデルの検討：デジタル療法に関する適正使用指針作成に向けて、分科会で協議する。
- 3) エビデンスの創出：治療用アプリやオンライン診療やIoTデバイスなどの各種臨床試験でのエビデンス構築に努める。